

初日さす

右近像の 十字架にさす 初日かな

その後、お変わりありませんか？

2009年最後の、“おおみそか”の日は、こわいほどの大あらし！ はてさて、明日の元日は、どうなるのだろうかと思っていましたが……

新年あけてすぐの1月1日午前4時ごろ、「日本史上初」の“元旦月食”が見られるとのでしたので、目覚まし時計を4時15分にセットしておき、起きて見ましたよ！

よく晴れていましたが、とにかく寒い！！ ぶるぶるふるえながら、西の空に左下が欠けている(4時22分最大8%)元日の満月を、感動しながら見ていました。

今年の“初日の出”はどうでしょうか。

例年のように、高槻城跡公園の「高山右近像」の所に出かけていきました。

よく晴れてはいるのですが、地平線近くの雲が厚い層になっていて、いつも見られる7時15分頃になっても、その気配はなく、見られそうにありません。いっしょに初日の出を待っていた何人かの人達も、あきらめて帰っていかれました。

私は、“日の出だけがお目当てではない”などと思いながら、空や雲の変わっていく様子も十分に楽しみながら、右近さんも祈られた、その頃のことばで「パーテル・ノステル」(主の祈り)や「ケレド」(使徒信条)などを祈りながら、引き続き残っていましたが…… 7時40分ごろに、横に広がっていた雲の層を通り過ぎて、幻想的な光の条。そして、見事な初日が姿をあらわしましたよ。待ち続けていたおかげで、すばらしい“初日の出”を体験することができました。

デジカメで、多くの写真をとりました。

つづいて、「カトリック高槻教会」に来ましたら、ここでも、又又、この時しか体験できない光景が待っていましたよ。

聖堂のあたりまで伸びる、「右近像」の長い長い影が出来ていたのです。元旦ですので、駐車場には車など何もありませんし、すばらしい写真におさめることができました。

これらの写真は、わがホームページ「高山右近研究室・久保田へようこそ」に、【右近の四季】特別篇その3として、「初日の出・右近像」をのせていますので、よろしかったらご覧になってください。

そのあとは、これも例年の通り、聖堂内で、祈りと賛美・リコーダーで「いつくしみ深

き」「ジスト高山右近を賛う」をささげましたよ。

つづいて、近くの「光松寺」にある、妻・忠子方の“佐藤家の墓”へ。ここでも、祈りと賛美・リコーダーで「いつくしみ深き」をささげました。

帰宅して、妻が準備してくれたお雑煮をおいしくいただきました。

11時からの、阿武山福音自由教会での「元旦礼拝」に、夫婦で出かけて行きました。

鈴木健之牧師によって、新約聖書・「ローマ人への手紙」8章28～39節の聖書のことばから、「圧倒的な勝利者となる」と題して、メッセージが語られました。

“神を愛する人々…のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる。”

多くの方々から、クリスマスカードや年賀状をいただき、ありがとうございます。一枚一枚、うれしく拝見させていただきながら、それぞれ、ご活躍の様子や近況を知ることができ、感謝いたしました。

元日の夜は、毎年、「ウィーンフィルニューイヤーコンサート」が楽しみです。今年は、フランスの指揮者・プレートル(85歳)の名指揮で、すばらしかったです。後半は妻と二人で、堪能させていただきました。

1/2(土)は、6時からの阿武山教会での「早天祈り会」のあと、“久保田家の墓”へ。ここでも、祈りと賛美(リコーダーで「いつくしみ深き」)をささげました。

夕方、5時から、お正月恒例の、子ども達一家がわが家に集まって「食事会」です。妻が丹精こめたおせち料理+いろいろなご馳走が準備され、幸いな時をもたせていただきました。

子ども達7人、孫4人ですが、

長男の聖潔(きよし)・由佳子夫婦。心優(みゆう)は何と、この4月に小学校入学なんですよ。一歩(いっぽ)は2歳になりました。

長女の、中村信洋・光世夫婦は、ドバイ勤務ですので、今回は参加できませんでした。信也(4歳)がドバイの幼稚園に通っていますよ。

次男の寛容(ひろし)・尚英(よしえ)夫婦は、昨年5月に東京勤務となり、引っ越してい

きましたが、このお正月には帰ってきていて、12/29・30と泊っていき、そして今日の「食事会」にも参加してくれました。来る時は、車で7時間かかったそうですよ。志歩(しほ・2歳)が、どんどんお話するようになってきています。

次女の御国(みくに)は、アルバイトで小学校の働きをしながら、次の働きのために、祈って備えているところです。

ドライブからも、電話で参加してくれましたが、電話の声もはっきりしていて、すぐ近くにいるようで、はるかはなれた遠い所にいるような気がしないほどです。

昨年も、「高山右近研究」を通して、多くの恵みをいただきました。

ホームページ「高山右近研究室・久保田へようこそ」が、ますます充実してきました。尚英(よしえ)のお父さんの太田靖雄さんが、全面的に協力してくださっているおかげですが、すばらしいものになっています。

いろんな方々の理解と協力をいただいて、「木俣清史・右近絵画展」、紙芝居「高山右近」、溝部脩司教の講演「発展するキリシタン時代の教会と現代」……一つ一つどれも、心をこめて準備させていただいています。

よろしければ、一度ご覧になってみてください。そして、高山右近さん・右近さんが愛されたイエス・キリストと出会ってくだされば、と思っています。

(「高山右近」で検索していただければ、出てきます。)

ついに、パソコンやプリンターを一式購入いたしました。これまで“なし”で過ごしてきたのですが、必要にせまられて、太田さんにいろいろ教えていただきながら、購入・操作など、随分、助けていただきました。おかげで、今までムリをいって、いろんな方々にご迷惑をかけていたことを、少しずつやっていけていますので、感謝です。

陶像「マニラでの高山右近・感謝」(中野勝二・作)が、高槻に、わが「高山右近研究室・久保田」にやってきましたよ！

(くわしくは、ホームページにのせていますので、ご覧ください。)

10/10～11/29、高山右近ゆかりの高槻で、初めて「高山右近展」、そして「右近茶会」が開催されました。関連して、多くの講演会等も企画していただき、感謝でした。

昨年も、夫婦で、いろんな所に出かけていきましたよ。近い所がほとんどですが、近くで、すてきな、知らなかったところがいろいろあって、写真にうつし、DVD(スライドショー)にして楽しんでいます。

遠い所といえば、岐阜城・花の吉野・金沢「山縣牧師賛美歌作曲：三万曲記念コンサート」・串本・坂本城址・・・ ぐらいでしょうか。

今年は、妻がまだ行ったことのない、高山右近さんが召された「マニラ」に、夫婦で出かけて行きたいと思っています。

本年も、よろしくお願いします。

「わたし(神)の目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」
(イザヤ書43:4)

神の祝福が豊かにありますように。





久保田 Ukon 典彦